

岩手県における障がい者雇用事例

社会福祉法人 愛護会 (平成23年度岩手県知事表彰)

～たった一人しかない自分を たった一度しかない人生を
本当に生かさなかったら 人間生まれた甲斐がないじゃないか～

社会福祉法人愛護会は、障がい者の雇用及び障がい者が働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいることから、平成23年度に障がい者の雇用優良事業所岩手県知事表彰を受賞しました。今回、保育事業を行っている第二東水沢保育園を訪問しました。

第二東水沢保育園

【事業所所在地】

奥州市水沢区朝日町5番31号

【事業内容】

保育事業

【従業員数】

38名（H24.9.10現在）

うち障がい者1名（障がい種別：知的障がい1名）

◆ 障がい者雇用の経緯、背景

社会福祉法人愛護会は、昭和39年に財団法人金ヶ崎愛護会として設立以来、たくましい子を産み育てるための保育事業、障がい者の生き甲斐を保障する環境（社会）をつくる援護事業を行ってきました。障がい者支援施設や障がい者福祉サービス事業所を運営している中で、法人内部で障がい者の就労先を創り出す必要があるのではないかと考え、障がい者雇用がスタートしました。現在では4か所の保育園に1名ずつ、障がい者支援施設に1名、特別養護老人ホームに1名が働いています。皆職場定着率が高く、それぞれの職場で掃除や給食の調理、洗濯など欠かすことのできない仕事を任せられています。

◆ 障がい者が従事している作業内容と雇用に関して工夫していること

第二東水沢保育園で勤務している方は、保育室や廊下、テラス、玄関といった園内の掃除や外の草取り、畑の手入れ、雪かきなどを担当しています。気付きにくい細かいところの汚れは、一言声をかけると綺麗に掃除をしてくれます。初めての場所を掃除するときは、どうすれば綺麗になるか、どの用具を使ったらいいかを他の職員と一緒に考えて取り組むようにしています。

「とても素直で一生懸命なので、頑張りすぎてしまうことがあります。声をかけながら、休憩時間を入れることも大切です。」と三浦園長は話していました。

◆ 就労を希望している障がい者へのメッセージ

「障がいの有無に関わらず大切なのは、素直に周りの人の話を聞いて良好な関係を築くことだと思います。あとは、悩み事があるときは我慢をせずに誰かに話すこと。相談できる人が近くにいるといいですね。」（三浦園長）

◆ 障がい者雇用を検討している事業所へのアドバイス

「まず、受け入れる体制をつくってください。理解しようとする気持ちを持つことです。皆が受け入れる心を持つことができれば、スムーズに溶け込めるのではないのでしょうか。そして、できることを伸ばすようにしてみてください。そのためにも、できない部分を理解し、仕事の内容を細かく分けて、その中でできることを見つけるといいと思います。」（千田事務局長）

「障がい者就業・生活支援センターなど支援機関を活用して、専門家にサポートに入ってもらうことをお勧めします。また、履歴書だけではどんな人かわからないものです。すぐに雇用を決めるのではなく、職場実習や訓練などを活用して、短期間仕事を体験してもらった上で判断することも大切だと思います。」（三浦園長）

（取材：雇用対策・労働室）